

新春特集 かわさきワンセグ



TV放送、学生が番組制作

専修大学 ネットワーク情報学部

防災や地域連携に威力

毎週火曜にライブ放送

大学生が運用する全国でも珍しいワンセグ放送「携帯機器向け地デジ放送」のテレビ局「かわさきワンセグ」が、川崎市多摩区の専修大学生田キャンパスで放送されている。同ネットワーク情報学部のメディア教育の一端として昨年8月にスタートした実験放送で、定時番組のほか地域のイベントなどを学生たちが自ら取材し、番組に編成して放映している。また、災害時には地域の情報を発信することも計画しているという。このプロジェクト(セミ)を指導しているネットワーク情報学部の福富忠和教授と、同学部3年の石川陽佑さん、大橋遼さん、夏堀有未さんの4人に放送について聞いた。



「かわさきワンセグ」では、どんな番組を放送しているのか。福富 定期的な放送としては毎週火曜日正午から「かわさきワンセグ・キャンパスライブ」を生放送しています。学生が企画し、番組編成から放映まで行っています。地元ラジオ局「かわさきFM」のラジオ番組「かわさきFM」のラジオでも聞くことができます。また、学園祭やコンサートの生中継も行っているほか、川崎市や、かわさきFM、富士通との連携で市内のイベントやスポーツの中継も行っています。



「参加している学生さんは何人くらいですか。」石川 授業科目「プロジェクト」の履修者3年生9人を中心活動しています。メディア・プロジェクトだけでなく、映像やネットワークシステムを勉強している学生もいて、皆で知恵を出し合っているんです。福富 番組の内容はどのように決めるのですか。大橋 皆で企画を出し合っています。放送の2、3週間前には決まないと準備が間に合わないの、なかなか忙しいです。夏堀 毎週の生放送以外に、イベントの放送もありますから、土・日曜返上でがんばっています。

「かわさきワンセグ」の視聴方法

専修大学生田キャンパス付近(半径約500m)で、ワンセグ放送が受信できる携帯電話などで30chに合わせる。NHK総合27chを表示して選局すると分かりやすい。火曜正午からの放送「キャンパスライブ」は、かわさきFM(79.1MHz)とインターネットのサイマルラジオ(<http://www.simulradio.jp/>)でも音声のみ聴取することができる。◇「かわさきワンセグ」のWEBサイト=<http://k-one.tv/>

ワンセグが防災に貢献

福富先生は以前からワンセグを防災に利用しようと考えています。東日本大震災で、ワンセグが防災に貢献している。大橋 大変ですが、自分たちが企画からやっているの、成功した時の達成感も格別です。地元の商店や役所へ取材に行くなど社会人の方とのやり取りも多いため、この経験は社会に出てからも役に立つと思います。

メディア教育には最適

ワンセグ放送の将来の姿、例えばさらさら広域のネットワーク化などについてはいかがでしょうか。福富 ワンセグは学生のメディア教育の手段として最適で企画からやっているの、成功した時の達成感も格別です。地元の商店や役所へ取材に行くなど社会人の方とのやり取りも多いため、この経験は社会に出てからも役に立つと思います。

専修大学からの「知の発信」

専修大学では、地域社会貢献の一環として研究成果など大学の知的資源を社会に還元するため、各種公開講座、公開シンポジウムなどの開催をはじめ、川崎市や多摩区といった自治体と連携し、地域の諸課題の解決についても積極的に取り組んでいます。また、在学生においてもサークル活動やボランティアを通じての地域貢献活動が活発に行われています。今後も諸機関との連携を推進し、本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」を地域に向けて発信していきます。

www.senshu-u.ac.jp/

川崎市との連携・協力に関する基本協定

2008年10月、本学と川崎市は、連携して相互の人材育成・人的交流の推進を図るとともに、地域振興事業等に向け、連携・協力して取り組む基本協定を締結しました。特別講座の実施や「映像のまち・かわさき推進フォーラム」への参加など、今後も様々な施策を実施していきます。

KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー

5か月にわたる大学院レベルの講義と、地域や街の課題解決に取り組むNPOや企業での現場体験などを通じ、地域活性化、少子高齢化、福祉、生涯教育、環境、貧困などの社会的課題の解決を、ビジネス手法の活用により継続的な活動として進めていく人材を育成します。

公開講座-10,000人以上が受講

生涯学習への取り組みとして、高等教育機関が有する知的財産を積極的に社会に還元するため、各種公開講座・講演会・シンポジウムなどを開催しており、毎年約10,000人を超える方が学んでいます。「歴史を紐とく」や「THE 寺子屋」などは、熱心な聴講生でいっぱいです。

「課題解決型インターンシップ」で地域活性化に取り組む

キャリアデザインセンターでは、学生のキャリア教育充実のため、2006年春から川崎市と連携し、地域活性化に取り組みを企画・推進しています。また、この企画を通して、学生たちの社会参画の意識向上を育んでいます。

神奈川県の子供たちの健全育成を支援

2006年度より創立130周年記念事業の一環として、「地域(神奈川県)の子供たちの健全育成支援」専修大学と地域との新たなコミュニケーションツールの確保を目的に、神奈川県野球連盟と本学の主催により「専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」を開催しています。

総合型地域スポーツ活動「One Day Teammate」(ワンデイチームメイト)

地域の小・中・高校生を対象に、レベルアップや意識の向上を図るためのきっかけ作りを目的として開催しています。また、その一環として多摩川河川敷や向ヶ丘遊園駅周辺などの地域清掃活動「クリーンタウン」も行われ、体育会所属の学生が多数参加しています。

社会知性の開発をめざす **専修大学**

神田キャンパス 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8 TEL 03-3265-6677
生田キャンパス 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 TEL 044-911-0794